

報道関係各位

2026 年 10 月 15 日
株式会社コスモスイニシア

**「イニシア京都御所南」「イニシア調布ステーションサイト」が
「2026 年度グッドデザイン賞」を受賞
コスモスイニシアは 24 回目の受賞、累計 58 プロジェクトに**

大和ハウスグループの株式会社コスモスイニシア(本社:東京都港区、社長:高智 亮大朗、以下「コスモスイニシア」)は、新築分譲マンション「イニシア京都御所南」と「イニシア調布ステーションサイト」の 2 プロジェクトが、公益財団法人日本デザイン振興会主催「2026 年度グッドデザイン賞」を受賞したことをお知らせします。今回の受賞により、当社の「グッドデザイン賞」受賞は 24 回目、累計 58 プロジェクトとなりました。



■ 2026 年度グッドデザイン賞 受賞プロジェクト一覧

1. 分譲マンション「イニシア京都御所南」

- ・集合住宅、応募カテゴリー:13-01 中～大規模集合住宅
- ・受賞企業:株式会社コスモスイニシア、株式会社クル、coil 松村一輝建築設計事務所

2. 分譲マンション「イニシア調布ステーションサイト」

- ・集合住宅、応募カテゴリー:13-01 中～大規模集合住宅
- ・受賞企業:株式会社コスモスイニシア、株式会社佐々木達郎建築設計事務所



「イニシア京都御所南」外観



「イニシア調布ステーションサイト」エントランスホール

1. イニシア京都御所南(京都市中京区、総戸数:29戸、竣工:2025年8月)

京都の伝統工芸を建築に統合し、住まい手・職人・事業者の継続的な関係性を構築
経年変化によって価値が深まる住まい

● 京都の工芸を建築へと統合したデザイン

「イニシア京都御所南」では、京都の工芸を単なる共用部の装飾として用いるのではなく、外装・共用空間・住戸を構成する要素として、建築に一体的に取り込みました。瓦、石、左官、和紙、金網、古材、木工、名栗、無釉タイルなど、9組の職人・工房と協働し、それぞれの素材や技術だけでなく、その背景にある思想や価値観まで住まいづくりに反映しました。

各部の構成要素

外装	瓦タイル／平瓦／石壁／敷瓦
共用部	左官／和紙／金網／石／古材／敷瓦／石テーブル／スツール
住戸	名栗／障子／栗フローリング／和紙貼り建具／無釉タイル／瓦タイル



「イニシア京都御所南」 エントランスホール(左) / Cタイプ(右・モデルルーム写真、家具や調度品は販売対象外です)

● 工芸の価値を伝え、入居者に継承する仕組みづくり

本物件では、採用した工芸や建物に込められた想いを住まい手へ伝えるため、冊子や映像コンテンツを制作しました。さらに、修繕や更新の際にも職人との継続的なかわりを生み出すことで、購入検討時から入居後まで継続的に価値を共有できる仕組みを構築しました。実際に、入居者が冊子を手に店舗を訪れた事例も生まれ、工芸や地域文化への理解を深める機会の提供につながりました。

● 工芸を継承する仕組みを次の住まいづくりへ

竣工時が価値のピークではなく、時を重ねることで価値が深まる住まいを目指しています。工房と協働し、知見を住まい手に受け渡す仕組みを一棟で終わらせず、計画進行中の次期プロジェクトでも工房数を拡大し、展開していきます。



「イニシア京都御所南」 玄関部分に実装されている名栗
(左)



専有部分に使用されている吉村障子(右・
モデルルーム写真、家具や調度品は販売対象外です)

【審査委員のコメント】

多くの分譲住宅とは全く異なる外観の佇まいに、場所の文脈をふまえた基本的な敬意が感じられる。地域工芸職人との協働による多彩な表情の実現は、地域固有の技と人と経済の生態系に光を当てつつ、所有する住まい手にとっての誇りと愛着という価値を生み出すことも同時に生み出す仕掛けとして美しい解決となっている。市場で評価される商品価値が単に機能性・安全安心、はたまた豪華さといったもののみ収斂されることなく、美やローカリティと結びつくものであることを示した意義が見出せる。

2. イニシア調布ステーションサイト(東京都調布市、総戸数:99戸、竣工:2026年4月)

多様な白と曲面が生み出す「パーソナルスペースの連続帯」

共用空間を単なる通過場所から暮らしを支える居場所へ

● 共用空間を「暮らしの居場所」へ

共用部にはラウンジやワークスペース、ライブラリーなどを配置。読書や仕事、休息、待ち合わせなど、入居者が目的や過ごし方に応じて自由に居場所を選べる構成としました。共用空間を単なる通過動線ではなく、日常の居場所として機能させることで、多様な生活スタイルを支えます。



「イニシア調布ステーションサイト」 ワークラウンジ(左) / 外観・エントランス(右)

● 多様な白と曲面がつくるパーソナルスペースの連続帯を形成

単身世帯の増加による多様なライフスタイルの提案として、空間のテーマを「多様な白」とし、白を均質な色として扱うのではなく、曲面、光、陰影、素材の重なりによって多様な表情を生み出し、住戸の外側へ広がる「パーソナルスペースの連続帯」を形成。都市に増加する単身世帯に寄り添う新しい共同住宅のあり方を提案しました。

● 共用部に防災マップとサイクリングマップ。まちへとつながるマップへ。

地域の防災マップとサイクリングマップを共用空間に組み込み、街の情報を日常の風景の一部として計画しました。普段から地域を知り、安心して暮らすための情報として空間に溶け込ませることで、建築を閉じた空間ではなく、街へ拡張するためのメディアとして計画し、単身世帯の暮らしに寄り添う居住環境を目指しました。



「イニシア調布ステーションサイト」 ゴミ置き場と上部の防災マップ(左) / 自転車置き場にサイクリングマップ(右)

【審査委員のコメント】

マンションの共有部は画一的でどこも似たようなデザインになりがちだが、ここは複雑な形状の共有部を、豊かな共有部へと転換した好例である。単身者が多いこのマンションにおいて、人とのつながりを感じられるような曲線と、白色という単調になりそうな色を、素材とデザインで奥行きを持たせ、都市的な生活に潤いを与えるようなデザインになっている。また印象としては、健康的でありながら、くつろぎを感じられるようなデザインで、それは同時にここは安全な場所であると伝えているようにも感じられる。それは、共同住宅にとってとても大事な解答のひとつであると言える。

| コスモスイニシアについて | <https://www.cigr.co.jp/>

コスモスイニシアは、新築マンション・一戸建、リノベーションマンションなどの住まいを提供するレジデンシャル事業、収益不動産の開発・仲介・賃貸管理などを行うソリューション事業、ファミリー・グループでの中長期滞在に対応するアパートメントホテルなどの開発・運営を行う宿泊事業を中心に展開しています。社会の変化とともに人びとの暮らしや価値観が多様化する中で、私たち自身も進化を重ね、都市の暮らしをプロデュースする企業へと歩みを進めています。

私たちは、ミッション『「Next GOOD」 お客さまへ。社会へ。一歩先の発想で、一歩先の価値を。』の実現に向けて全ての経営活動において共通価値の創造を実践していきます。これからも、期待を超える安心や喜びをもたらす価値を追求し、商品・サービスの提供を通じて社会課題を解決するため、お客さま、社会と共に多くの「Next GOOD」を創りだし、“新しいあたりまえ”へと育ててまいります。

COSMOSStyle

コスモスイニシアのオウンドメディア「COSMOSStyle(コスモスタイル)」

<https://www.cigr.co.jp/cosmostyle/>

以 上

<当資料に関するお問い合わせ先>

株式会社コスモスイニシア 経営企画部 総合企画課 広報担当 三木・金丸・奥村・根岸

TEL:03-5444-3210 FAX:050-3156-2937 EMAIL: box-gr-sen@ci.cigr.co.jp